

社協の 福祉だより

第86号

2019.12

CONTENTS

- 赤い羽根共同募金のお願い……………①
- 福祉教育の取り組み……………②～③
- 相談支援包括化推進会議の報告……………④
- 心のふれあいほか……………⑤
- 歳末たすけあい募金配分の変更、
社会福祉事業功労者の紹介、
相談日のお知らせ……………⑥



被災地で役立ててください

台風19号により被災された方々のために、東伯中学校生徒会が中心となって、応援プロジェクトとして募金活動をされました。

この集まった義援金57,526円は、琴浦町共同募金委員会を通して、被災された方々のために役立てられます。

皆さまのあたたかい気持ち、ありがとうございました。

みんなで支え合い、共に生きる福祉のまちづくり ～一人ひとりが輝くために～

編集・発行 社会福祉法人 琴浦町社会福祉協議会

本所：〒689-2352 琴浦町大字浦安123番地1 TEL 52-3600 FAX 53-2035

支所：〒689-2501 琴浦町大字赤碕1113番地1 TEL 55-1124 FAX 55-1137

URL(ホームページ) <http://www.kotoura-shakyo.jp>

Eメール 社会福祉協議会(代表) fukushi@kotoura-shakyo.jp ボランティアセンター vc@kotoura-shakyo.jp

「福祉だより」は皆様からいただいた会費で発行しています。



の取り組み

福祉体験を通して

八橋小学校PTA役員の方から福祉教育の取り組みについてお話をききました。

八橋小学校のPTA活動として、人権・同和教育推進部があり、各学年ごとにテーマにそった研修への取り組みで、保護者の方の福祉教育については毎年継続して取り組んでおられます。3年生PTAは『身近な人権問題』というテーマに取り組み、保護者から自分たちの身の回りのなかで、障がいがあつて困つておられる方にどう接していいのかわからない、足や目の

不自由な方について理解をしたいという要望があり、職員が講師となり、10月25日に小学校の体育館や廊下・階段を利用し『車いす・アイマスク体験』を行いました。この体験の目的は『介助の仕方を学ぶのではなく、障がいのある方が、どう感じているのかということ』に重点をおいて体験をしていただくよう話をしました。2人1組になり、目の不自由な方と車いすの方を安全に目的地まで移動してもらうという介助を交替で行ってもらいました。

参加者の声

- 目が見えない方は、介助者を信じて歩かれるので、しっかり言葉で伝えてあげないといけないと思いました。自分アイマスクをして階段を歩くのはとても怖かったです、一緒に段数を数えることは良かったです。
- 車いす体験では、車いすに乗っていて、段差や坂が思っていた以上に怖かったけど、声掛けをしてもらったことで、怖い気持ちが和らぐことに気が付きました。
- アイマスク体験では、案内する声掛けが難しいと思ったことと、見えない状態での階段の上り下りが怖かった。



段差やスロープなど、車いすに乗って体験

福祉教育

● どう介助したら介助される側の人分かりやすいか、楽かということを考えながら行うことが大変でした。実際に体験をしてみないとわからないことを体験できた良い機会でした。



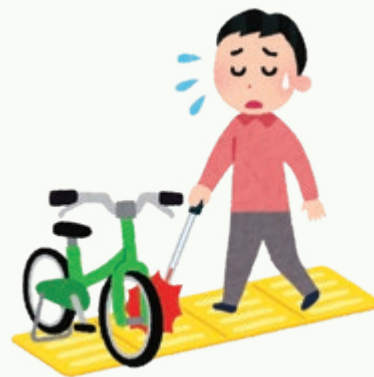
アイマスクを付け、
目の見えない方の体験

車イスの方がちょっとした段差で困っておられたり、点字ブロックに物があると歩けなくて困られるということを保護者の方は体験を通じて子どもたちに教えていくことで、人を思いやる心が育っていくのだと思います。地域の中でお互いが助け合いながら共に安心して暮らしている町を皆さまと一緒に目指していきたいと考えています。

琴浦町社会福祉協議会では、車いすの貸し出しも行っております。必要な際にはご相談ください。



今回の広報では八橋小学校PTA役員の方と先生にご協力いただきありがとうございました。



点字ブロックは
見えない方の目です



段差があると登れません

物品が片付けられない世帯への対応について

令和元年度 第1回 相談支援包括化推進会議を開きました。

10月25日、『ことうらあんしん相談支援センター』がこれまでに受けた相談のうち、共通の問題点について関係者が集まり話し合いをしました。



問題点

- (1) 火災発生の恐れがある。
- (2) 火災・災害時の避難経路が妨げられる。
- (3) 不衛生・悪臭からくる健康侵害の恐れがある。
- (4) 地域からの孤立・孤独死が考えられる。



なぜ片付けができないのか

- (1) 生活習慣が身につかず、本人の片付けようとする意識が薄い。
- (2) 障がいの特性なのか、物品への執着が強い。
- (3) 生活が困窮して片付けにけるお金がない。

対応策として出た意見

- ◎消防署と連携し、火災が起きたらどうなるのか、本人が具体的にわかるビデオなどを見ていただくことで、意識をもってもらえるようにしてはどうか。
- ◎片付けられないというのは障がいの特性なのか、見極めを専門家に相談し、個別に対応をするしかないのではないか。
- ◎現行の条例では片付けを強制的に執行できないのであれば、新たに条例をつくるのはどうか。
- ◎お金が払えないのであれば、社協の会費を使用するか、ボランティアの協力を得るなどの方法がよいのではないか。

今後の取り組みについて

意見を基に、関係機関や地域の福祉関係者などと相談しながら、相談者や地域住民が、地域で安心して暮らせるよう支援していきます。



ひとりで悩まず ご相談ください

問合せ先 ことうらあんしん相談支援センター（琴浦町社会福祉協議会内） TEL:52-3600



秘密は守ります

心のふれあい

篤志ありがとうございます
(受付順に掲載)

金額・氏名等の掲載は寄付者の申し出によるものです。
令和元年9月1日～令和元年10月31日分

本会にお寄せいただいた寄付金は、確定申告により所得税に係る寄付金控除の対象となります。

香典返し・玉串料返し

(単位：円)

金 額	住 所	寄 付 者	故 人	金 額	住 所	寄 付 者	故 人
志	花 見 町	福 田 淳 子	木村祥子	志	八 橋	北 中 善 隆	輝子
志	竹 内	石 賀 陽 子	菅子	20,000	八 橋	紺 弘 利	つる子
志	南 出 上	治郎丸 長 生	乃夫子	志	逢 束	泉 本 悦 子	初枝
志	坂 ノ 上	松 本 高 邦	敦子	志	杉 下	福 井 孝 幸	登美枝
志	大 成	信 組 常 吉	松本友則	志	三 本 杉	馬 野 彰 博	君子
志	倉吉市関金町	保 田 俊 市	田中ふゆ子(徳万)	志	下 伊 勢	手 嶋 晃 一	信治
志	大 父	前 田 祐 子	岩本典子	志	八 橋	高 塚 博 臣	鐵田壽美恵
志	八 反 田	徳 丸 英 行	すみ子	志	下 伊 勢	加登脇 俊 子	博之
志	八 橋	遠 藤 秀 嗣	千津子	志	田 越	橋 本 憲 誼	馨
志	下 伊 勢	谷 田 儀	あさ子	志	三 本 杉	杉 本 広 明	しづ子
志	徳 万	杉 山 実	ひでよ	志	法 万	米 田 悦 子	景山 俣
志	籠 津	南 田 健 司	浪枝	志	竹 内	西 田 太 郎	千鶴恵
志	浦 安	西 本 清 一	敦子	志	駅前通り	池 口 敦 子	保雄
志	法 万	岡 田 健 二	田中仲蔵	志	大 父 木 地	浪 花 光 夫	つるい
志	逢 束	相 澤 真里子	河本良一				

見舞い返し

(単位：円)

金 額	住 所	寄 付 者
志	大 熊	高 力 弘

一般寄付

(単位：円)

金 額	住 所	寄 付 者	摘 要
8,500	下 伊 勢	東伯経済クラブ理事長杯ゴルフ大会	子ども食堂へ

物品寄付

寄 付 者	摘 要
匿 名	ブロッコリー 6 kg
セブンイレブン琴浦逢束店	食料品一式
匿 名	玄米 30kg 3 袋
匿 名	白米 15kg 1 袋
J A 鳥取中央農協	二十世紀梨
匿 名	さつまいも 30kg

2020年カレンダー絵画フォトコンクール入賞作品

作品のテーマ「えがお」

写 真	なかよし三人組！	古 林 絵 梨
	青空ヘジャンプ！	古 林 直 樹
	ダンスコンクール優勝の語らい	河 野 誠
	お母さん 大好き♥	清 水 いづみ
	地域に感謝して	伊 賀 聡 史
	あったか〜い！	森 博 之
	ぶ〜らんこ たのしいな	森 亮 介
	はじめてのごはん	森 亮 介
	ぽかぽか	筏 津 民 江

絵 画	にやはっ	川 口 美 海
	ぼくのおいっ子	大 田 秀 則
	月見をするフクロウ	吉 川 夏 美
	えがおのかぞく	山 下 結 有
	わたしの家族	谷 奥 麗 花
	ぼくの家族	谷 奥 湧 月

たくさんのご応募ありがとうございました。
入賞作品は「2020年福祉情報カレンダー」に掲載させていただきます。

人生は後戻りできない。だから後戻りなどしようと思わないこと。前進あるのみ。人生は一方通行である。

アガサ・クリスティ



歳末たすけあい募金配分の変更

共に支え合い、安心して暮らし続けることができる町になるよう、みなさまの心温かい募金をつぎのとおり活用させていただきます。

30年度(昨年度)

1. 福祉情報カレンダー贈呈
2. 正月飾り贈呈
3. 困窮者世帯及び介護者の方へ支援金 (ことうら商品券)
4. 「社協の福祉だより」の発行
5. 災害等準備金積立

変更後

元年度(今年度)

1. 除雪機購入費助成
2. 小学校入学祝い贈呈
3. 中学校入学祝い贈呈
4. 準要保護児童・生徒へ支援金(ことうら商品券)
5. 「社協の福祉だより」の発行
6. 災害等準備金積立



町民のみなさまのご理解をよろしくお願いいたします。

※詳しくは総務課までお問い合わせ下さい。TEL52-3600

社会福祉事業功労者受賞!

県民総合福祉大会(9月18日:とりぎん文化会館 開催)において永年にわたり、社会福祉事業に精励された方々に表彰状が贈られました。受賞、おめでとうございます。(敬称略・順不同)

★鳥取県知事表彰

ボランティア功労 (八幡) 野間田和子

★鳥取県社会福祉協議会長表彰

ボランティア功労 (麓津) 高塚紀子

相談日のお知らせ

秘密は堅く守られますので、お気軽にご相談ください。

本所(社会福祉センター)と赤碕支所(老人福祉センター)で相談受付をしています。お間違えのないよう、お願いいたします。



本所 TEL:52-3600
支所 TEL:55-1124

本
所
の
予
定

法律相談(司法書士)

予 約 制

日程: 12月25日(水)
1月22日(水)

時間: 13:30~15:30

*法律相談は**本所のみ**となります。

心配ごと相談

日程: 12月4日(水)
時間: 9:00~11:00

行 政 相 談

日程: 12月18日(水)
1月15日(水)

時間: 9:00~11:00

赤
碕
支
所
の
予
定

心配ごと相談

日程: 1月16日(木)
時間: 13:30~15:30

行 政 相 談

日程: 12月26日(木)
1月23日(木)

時間: 13:30~15:30

※心配ごと相談は、今年度より月ごとに本所・支所の交互開催とさせていただきます。ご了承ください。